

様式2 情報化施工見学会・研修会報告書

地整名： 北陸地方整備局

1. 報告内容	該当番号(右記から選択)	1	1. 現場見学会
2. 主催者	阿賀川河川事務所	3. 開催日	平成23年12月12日(月)

堂畑弱小堤防対策及び樋門改築その他工事 情報化施工現場見学会

4. 工事概要(研修会の場合は、記入不要)

1)工事名： 堂畑弱小堤防対策及び樋門改築その他工

2)工期： 平成23年3月29日～平成24年2月24日

3)施工場所： 福島県河沼郡湯川村堂畑地先他

4)請負金額： ¥110,775,000 (当初)

5)請負者： (株)共立土建

6)施工規模・主要工種等：

表土掘削2,300m³、築堤盛土7,800m³、法面整形1式、天端舗装1式、樋管継足2基 ほか

5. 見学(研修)対象情報化施工技術

1)技術の概要

GPSを利用した測量システム(GNSS)により、ブルドーザのマシンコントロールを行い排土板の高さを自動制御することにより、盛土の敷均しにおける巻立て厚を丁張を設置することなく効率的に施工することができる。

2)情報化施工を導入した工種・規模

盛土工 2,550m³

3)使用建機(機器)等

ブルドーザ8t級(コマツD31PX)、GNSS(GPS)システム(トプコンLEGACY-E/GGD)

4)使用システム

ブルドーザ3次元マシンコントロール

6. 参加者数(人) 20人

7. 見学会(研修会)現地状況(写真貼付)




8. 見学会(研修会)開催にあたって、うまくいった点・反省点など

1)うまくいった点：

2)反省すべき点：

3)その他：

9. 見学会(研修会)参加者の反応等(コメントできる範囲で記入してください。)

・弱小堤防対策の腹付け盛土では天端付近での施工幅が狭いため、本来は下層では15tクラスのブルドーザを使用するところ、情報化施工を適用するために今回は8tブルとしており、トータルの施工効率で見るとあまりよくないのではないかと。

・見学会当日は悪天候により、施工条件があまり良い状況ではなかった。